

# 市民談話室

投稿ください。市民の皆さんの意見交換の場がこの市民談話室です。テーマは自由です。あなたの意見を気軽に寄せてください。採用文には薄謝を申し上げます。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根、三三三、白根市役所企画財政課広報広聴係です。

## 新しい白根市の建設

### 二十一世紀に向けて英知の結集を

渋木義春さん 茨城県・地方公務員・23歳

白根市では現在、昭和六十年達成をめざした総合計画に基づいて、長期展望に立った行財政運営が行われています。

### スピード違反

#### 安全運転を誓い支払った戒め料

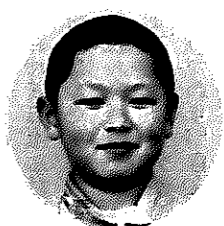
白野ソヨさん 新飯田・主婦・51歳

「美しい自然のある生活都市」「人間性豊かな福祉都市」「文化のある教育文化都市」「調和のとれた産業都市」「みんなで作る市民都市」といった五つの市政目標がかかげられています。そして、これまでに小中学校の統合と施設の近代化、地域生活センターの建設、公園や上水道、道路の整備、工場の誘致、保育園・保健センターなどの福祉施設の建設など、市民にとって比較的急がれる、まず手をつけなくてはならない事業が進められてきました。

私が運転免許証を手にして以来、十数年が過ぎました。男の子二人に恵まれた私たちは、「子供が大きくなったら親子で無事故無違反の腕くらべをしようね」と話してきました。その子供たちもそれぞれ免許証を持ち、お互い事故がないようにと注意しております。

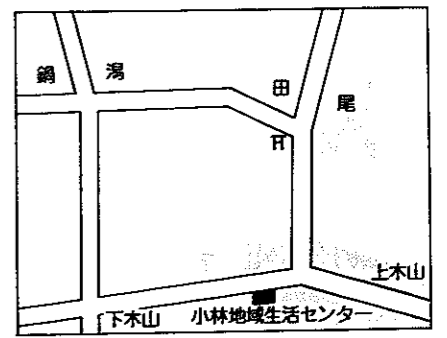
心にも痛手を受け、嫁にも不愉快な思いをさせ、今までの無違反も消えていい事なし。以後絶対にしまいと心に誓い、戒め料を払った次第です。

## ぼくたちわたしたちの部落・町内会



小林小学校6年 土屋 学くん

ぼくたちの部落のお宮には、ブランコ、すべり台、卓球台などがある。休みの日や夕方になると、よその部落の子も、おおい遊びに来ます。このお宮に緑色のフェンス



があります。このフェンスは、みんなが川におちないようにと、お父さん、お母さんたちが三年くらい前に作ってくれました。でも、ぼくたちは、なにげなくこのフェンスをこえて遊んでいました。今ぼくたちは、お父さん、お母さんの心づかい、子供へのしんらいを、うらぎったことなるのです。ぼくたちがやめたって、ぼくたちのするのを見ていた子供たちがまねをするかもしれません。ぼくたちはそれを、なんとしてもやめさせなければなりません。

世帯数 二三世帯  
人口 一四〇人(男六一人 女七九人)  
(七月一日現在)

## 園児はごみを捨てないヨ

七月十二日、白井保育園の年長児二十四人が、白井地区内のごみ拾いを行いました。これは「小さい時から、公共マナーを身につけさせよう」と、昨年五月から始めたもので、以来、毎月一回行っています。この日は、手にごみ袋を持ち、みんな一生懸命にたばこの吸い殻や空き缶などを拾っていました。



## これで安心です—日赤救急法講座



六月十四日から七月十九日までの毎週火曜日、青年教育センターで行われた救急法講座。これは、万一、事故や急病になった人に対しての応急手当を覚えてもらおうと、日赤の主催で行ったものです。四十六人の参加者は、出血多量の手当てや骨折の手当の仕方、また今年購入した人工呼吸訓練用的人形を使って、人工呼吸の方法などを真剣に学んでいました。

## 白友クラブが優勝

### 市婦人バレーボール大会



七月三日、白根高校体育館で市婦人バレーボール大会が開催され、十一チームが日ごろの練習の成果を競い合いました。成績は次のとおりです。優勝は白友クラブ、二位は庄瀬ママさんバレーボールチーム、三位は根岸ママさんバレーボールチーム、YUWAクラブ

●下越青年大会  
七月十七日、西蒲巻町で下越青年大会が開催され、白根市から五種目に出場。その結果、バドミントンが二位に入賞、ソフトボール、陸上競技、卓球、剣道とともに県青年大会の出場権を獲得しました。

## 市民文芸

### 川柳

おふくろの泪奥の手かも知れず  
下手観音の本奥の手を使う  
言い逃がれる台本が腹にある  
うれしがる孫に瓦がある通信簿  
水割り飲むと犬に唄が出る

長井 徳市  
高橋祐四郎  
今井 七郎  
佐藤トミノ  
織田 セツ

合理主義道ずれにする風見鶏  
うっすらと紅を引く娘の満ちた顔  
売出しの粗品につられる主婦の足  
鶴呑みして通った拳銃の苦い酒  
開運に助け舟だす神がいる  
地曳綱引く活発な声透る  
切り札を持った男のふところ手  
大好きの一語で孫に買う玩具  
青い鳥追ってここまで来た夕陽  
運ひらく運を阿弥陀に問うてみる  
孫のいぬ俺には北風ばかり吹く

堂下 正直  
大井 義雄  
田村 恒夫  
竹石 甚五  
本間 吾朗  
山岡 フミ  
吉川 彰  
岡村 清  
西條 ムラ  
吉川 末吉  
花岡 増男

孫を背に重さに耐えた老いの足  
熟年の手ほどきで飛ぶ竹トンボ  
産まず女のままに織女は老いるのみ  
活発な女性宇宙で化粧する

俳句  
白衣の天使もゆかたで盆踊り

短歌  
野の花を手に貯えて馳せる子の  
後方に高く成る虹の大橋

成田 吉子  
後藤マサノ  
中村 尚治  
米野 光雄

玉木 長吉

中村 京